

指定管理者の評価に係る合議の概要

施設名	箕面市立介護老人保健施設
指定管理者名	社会福祉法人箕面市社会福祉協議会
開催日	令和元年（2019年）12月17日（火）
開催場所	豊能広域こども急病センター 3階大会議室
合議の出席者	箕面市東部地域包括支援センター管理者 石丸 伸司氏 箕面認知症家族会「びわの会」理事 木戸 洋子氏 箕面市居宅介護支援事業所・介護予防支援事業所連絡会会長 岡本 有子氏

【概要】別添のとおり

内容

令和元年12月17日(火)に豊能広域こども急病センター3階大会議室にて、指定管理者の評価に係る合議を実施しました。主な内容は下記のとおりです。

1) 各サービスの利用状況などについて

指定管理者から、施設入所の延べ利用者数は平成29年度と比較して約1,500人増加したこと、また通所リハビリテーションの一日平均利用者数については、平成29年度に引き続き過去最高利用者数になっていることについて報告がありました。

そのほか、個別リハビリテーションの充実や在宅生活を見据えたリハビリテーションの実施、行事やレクリエーションの実施について報告がありました。

合議メンバーからは、個別の状態に応じたリハビリテーションで運動機能を最後まで残そうとするのは良い取組だとの意見が出たほか、看取りの取組について、最初から看取りを希望して入所することもあるのかという質問に対し、指定管理者からは、看取りのために入所を受け入れすることはなく、入所されたかたが看取りが必要な状態になり、希望された場合のみ行っているとの回答がありました。

2) 決算状況について

指定管理者から、決算報告について、事業活動収入が6億円を超えており、規模や状況などの違いはあるが、他の施設と比較しても収入額が大きいほうであるとの報告がありました。合議メンバーからは、人件費の決算と予算の差額が800万円ほどあるがその理由は何かとの質問があり、指定管理者からは人材確保が難しく予算と実績に乖離があったとの回答がありました。

3) アンケート結果について

指定管理者から、アンケートの回収率について、平成30年度に実施した郵送回答方式では回収率が低くなったため、令和元年度は手渡しでの回答としたが、入所と通所合わせて43.6%と半分以下になっており、もっと声かけをするように工夫するべきだったとの報告がありました。

合議メンバーからは、回答するつもりが忘れてしまうこともあるので、声かけがあったほうが良いとの意見がありました。

4) 総評

在宅強化型の老健施設として、利用者の個別の状態に合わせたリハビリテーションや在宅生活を見据えたリハビリテーションに力をいれていること、人材育成のため研修を充実させていること、また地域との交流事業も積極的に実施していることを確認しました。

アンケートの結果及び合議で出た意見からも、総じて指定管理者として円滑な運営を行っている、市として評価します。